

全書

科  
經濟論

翻  
刺

上

1139

633

特39  
644  
633

朝信

百科全書

經濟論目錄

卷上

全旨總論第一

消費第二

產生第三

卷下

交易第四

分配第五

卷之上

# 十八史略正文

田中義廉 標註  
渡井量藏 標註  
小野田虎太 校

大本全七冊 壹圓五拾錢  
半紙本 一圓二十五錢

該書の出版世に多と雖も其初學に便あるもの未だ之を見ざる者弊舖は刻する處の標註と題せるは原文中熟字、故事、地名、人名等之被萃熟字故事は之を挿頭に掲げ眞假字を以て之を譯解し地名人名等は之を冊毎の末尾に附し假名を以て稱呼を詳に去並に歴代帝王傳世傳國圖及び沿革圖等を卷首に挿入したるものなきは正に標註の便あるのみならず初學に要用なる啓蒙、訓蒙、等の企及する所にあらず乞ふ一讀考て其誣言に非ざるを知り玉へ

松本萬年編輯 全三冊 定價金六拾錢

## 附維新大家文抄

此の書は萬年松本先生が近世初學の徒の學則に束縛せられ其學ぶ所の學科皆二三れみならずして専ら文章に従事する能はざるを憂へ此篇の起る所以なり篇中は木戸孝允、箕作麟海、加藤弘之、杉亨二、福地源一、川路利貞、清人王濟園、神田孝平、中村正直、福澤諭吉、重野安譯、清水卯三、眞津田眞道、末松謙澄、島中不二雄、小林卓藏、成島柳北、秋葉斐、川田剛、の諸大家先生凡三十六名高論妙說其他記序に至るまで三卷通篇に別ち三十一首加之一々評論を附したるものなるは近世の文體を學はんと欲するもの此書を捨て他に需むるものあらんや依て江湖の諸彦に報告す

## 經濟家政要旨

小本二冊 定價 三拾錢  
一此書は總論家屋財產を購ひ求むる事○雇人の取扱ひ方○料理○經濟○洗濯糊熨斗○賓客を待遇する心得○夫の心得附り内政を寛待すべき事○榮養の事○食物の心得方○食糧を買ひ求むるときに心得○病室の中の藥方○嬰兒のことに就て心得○嬰兒輕症諸患等の諸事の最と肝要なるものを平假名にて心切に書つるものなれを婦人娘子より凡そ世間の男女ども人の貴賤と問はず家の貧富を論せず須臾も座右と離す可からざる一生の鑑鑑とあるべき人生心需の珍本なり

出版 齋林  
賣 弘

山梨縣下甲府常盤町四番地  
内藤傳右衛門謹誌  
東京日本橋通本石町十軒店 支店

百科全書

經濟論上

從六位 堀越愛國 譯

經濟學ハ、人間交際ノ學ニシテ、貨財ノ法則ヲ講究シ、教示スルヲ以テ、其趣意ト爲ス、

全旨總論第一

抵<sup>チ</sup>值<sup>ヂ</sup>及<sup>キ</sup>ビ交易ス可キノ抵值ヲ論ズ

貨財ト云フ語ハ、學問上ニ用ヒタルハ、言フニ及バズ世俗ノ領會スル所ニテモ貨幣ト云フ語ト同意ナル者ニ非ラズ、但何ニテモ、人ニ要用ニシテ、快適ナル事物ヲ廣ク包含シテ謂フナリ、  
世ニ貨財ノ種類、其數甚ダ多シ、逐一ニ之ヲ詳論スルハ、緊要ニ非ラズト雖トモ、之ヲ概論スルハ、即チ經濟學ノ職務トスル所ナリ、

要用嗜好ニ供スル事物ノ中ニ、人身ニ備ハルモノアリ、心徳藝能、或ハ幸福ノ景況ノ如キ、即チ是ナリ、又物質ニ在ル者アリ、衣服飲食等ノ如キ、即チ是ナリ、世ノ貨財ノ事ヲ論ズル説多クハ此初メノ人身ニ具ハル要好ノ事物ヲ以テ、經濟學ノ範圍外ニ在ル者ナリトシテ、之ヲ取ラス、然レモ其實ハ是モ亦經濟學ノ法則中ニ入ル可キ者ナキニ非ラザレバ、縱令ヒ簡便明白ヲ要スル爲メニハ、其注意ヲ形質有ル物体ニ限ルコト、初學ニ於テハ最モ願ハシキ者ト雖ドモ必竟之ニノミ止マシキ思フ可カラズ

又人ニ要用快適ナル者ナレドモ、天然ニ多ク散布シ、人々金ヲ費ヤシ勞ヲ施スヲ待タスシテ、各々欲スル丈ケ自由ニ得可キ物アリ、又同シク衆ノ欲スル所ナレモ多ク散布セスシテ、定リアル所ニ産シ、限リアル量ニ生シ、或ハ唯人ノ勞作ニ依テ、始メテ成リ需用ニ充ツルヲ得ル物アリ、今此普チク散布セル物ノ種類ハ、他ノ物ト同レク、

貴重ノ可キ所アリト雖トモ、交易ス可キノ抵値ヲバ具ヘザルモノトス、例ヘバ泰氣ハ人ニ有用ニシテ、生命ニ必須ナレドモ概シテ人々ノ限リ無ク資受スルヲ得ルモノナリ、然ルニ薪炭食物ノ如キハ同シク人生ニ必須ナレトモ供給偏チカラスシテ、之ヲ用ニ充ントスルニハ許多ノ勞作ヲ待ツ、此故ニ石炭或ハ小麥ノ給受ニ報ユルニ泰空ノ氣ノ若干量ヲ與ヘテ交易シ得ルモノハ世ニ決シテ一人モアル可カラス、此ニ品ハ皆有用ナルガ故ニ、人ニ在テ貴重ス可キ者ナレモ泰氣ハ人々ノ總テ十分ニ有スル所ナレバ、更ニ多量ヲ願欲スル者無シ、食ト薪トハ則チ然ラズ一人ハ、小麥ヲ有スル餘リ有リテ、薪ハ則チ足ラズ今一人ハ、薪ノ剩餘有リテ、小麥ノ欠乏アリ、是ヲ以テ我カ有餘ノ薪ノ一分ヲ以テ、彼ガ有餘ノ食ノ一分ト交易セント欲スルノ願ヒ起ル、是故ニ此物品ニ交易ス可キノ抵値アリト謂フナリ、交易ス可キノ抵値アル物品ノ中ニ、人工ノ助ケヲ須ザル

天然ノ産物アリ、又人ノ勞作ニ由ルノ産物アリ、又天工ト人力ト連  
 合シテ成ル産物アリ、故ニ亦自然ニ各殊ノ差別ヲ具フ、  
 交易ス可キノ抵値ニ關涉スル法則ノ明確ナルト、經濟家ヲシテ專  
 ラ之ヲ論考セシムルノ廣大ナルトハ、今古高名ナル多クノ著述家  
 ナシテ、經濟學ノ義ヲ釋スルニ、或ハ特ニ交易ス可キ抵値ノ學ナリ  
 ト云ヒ、或ハ交易ス可キ抵値ヲ有スル貨財ノ學ナリト云ハシムル  
 ニ至レリ、蓋シ此學ノ義ヲ釋スルニ、斯クノ如ク説ク時ハ、愈々限界  
 セラル、ガ故ニ、愈々嚴實ト爲ルナレバ、些ノ利益ハ、必ス之ニ伴フ  
 テ起ルコトアル可シ、然レドモ、此利益ハ、附屬ノ一形狀ヲ特稱、此學  
 第一緊要ナル法則ノ主務タル者ヲ舉テ、釋義ノ基礎トシテ、用フル  
 ニ依テ得ル者ナレバ、未ダ盡セリト謂フ可カラズ、天然ニ夥多ニ散  
 布セル物品ヲモ、除卻セズシテ、此學ノ範圍中ニ在ル者ト見做シ、斯  
 クノ如キ物品ハ、交易スベキノ抵値ナシト云フ法則ヲ、此學ニテ定

メタル一大緊要ノ者ト見做ス時ハ、更ニ可ナルヲ覺ユ、何物ニテモ  
 偏チク散布スト云フコトハ、其實唯欠虧ヨリ、富饒ニ至ル叙次ニ用  
 フル極端ヲ舉テ謂フ語ナリ、而ルニ吾輩ノ釋義ヨリ、此意ヲ除卻シ  
 テ、範圍外ノ者トスルハ、猶數學ノ範圍ノ釋義ヨリ、謾リニ無涯ト謂  
 フトナ、除卻スルカ如ク、理ニ背ク者ト謂フ可シ、尺度ノ中間ノ標點  
 ニ關スル、錯雜セル場合ヲ能ク理會セントスルニハ、尺度ノ兩端ナ  
 ル法則ノ功用ニ依ラサルヲ得ズ、一般ノ法則ヲ會得セントスルニ  
 ハ、總テ此場合ヲ考ヘテ、漏ラサザルヲ以テ必要トス、中間ニアル場  
 合ハ、自然其數モ多ク、且錯雜セルモノナレバ、之ヲ考究スルニハ、更  
 ニ多クノ辨ヲ用フルモ、亦理ノ自ラ當ニ然ル可キ所ナレドモ、必ス  
 シモ此ヲ以テ彼ヲ遺ス可カラズ

天然ノ産生物ヲ論ス

上ニ言ヘル如ク、人ニ有用ナル天然ノ産生物ハ、偏チク散布ノ、些ノ

勞費障害無く訴ニテモ得可キ者ナレバ、絶エテ交易ス可キノ抵値  
 ナ有セズ、然シナカラ、斯ク論スルハ、臆度ノ論ニシテ、世ニ未タ嘗テ  
 斯クノ如ク偏子ク受得ス可キ天然ノ産生物有ラズ、蓋シ此景況ニ  
 最モ近キモノハ泰氣ト日光トノミ、サレトモ、是スラ尙偏子ク給ス  
 ルモノニ非ラス、人烟稠密ノ都府ニ於テハ、佳處ニ由リテ、純清ノ空  
 氣ノ能ク流通スル處アリ、又然ラザル所アリ、此純清ノ空氣ハ、之ヲ  
 具フルノ場所ニ、交易ス可キノ抵値ヲ與フ、又之ニ等シク、沼池ノ中  
 央ニ在ル丘崗、或ハ衛生ニ宜シキ地勢等ハ自ラ賣買ノ抵値モ貴シ、  
 又太陽ノ温熱光明ノ如キモ、其當リ方ニヨリテハ人生ニ可ナルア  
 リ、又不可ナルアリ、此故ニ偏子ク各處ニ散布セル天然ノ産生物ト  
 説クハ、即チ法則ヲ説キ明ス便宜ノ爲メト見做シテ、假リニ極度ヲ  
 説クモノトシ、上地ハ天然ノ産生物ニシテ、世界隨處皆アリテ、其有  
 用ナル性質ヲ以テ人生ノ爲メニ甚タ緊要ナルモノタリ、耕作地ノ

如キハ殊ニ然リ、天然ノ産生物ノ、甚タ有用ニシテ、其幅員ニ限界ア  
 ルモノ、土地ヲ以テ其最トス、故ニ地ニハ自ラ交易ス可キノ抵値ア  
 リ、其中ニアル礦物ノ如キモ、亦同論ニテ、有用極リナキモノ有リト  
 雖トモ唯之ヲ得ルニ限りアリテ、多ク得難シ、寶石珠玉、其他地上ニ  
 アル利用多キ物品モ若シ些ノ勞ヲ費サズシテ、偶然ニ之ヲ見出サ  
 バ、亦天然ノ産生物ト稱ス可シ、物ヲ動かスノ力アル飛泉、及ビ總テ  
 天然力ノ人ニ有用ニシテ勞作ヲ煩ハサズ、自ラ在ルモノハ、皆此同  
 種類ノ中ニ入ル可シ  
 然シナカラ、通常天然ノ産生物ナルモ、直チニ人用ニ充ツ可キニハ  
 必ス人ノ勞作ヲ經テ、而ル後ニ適宜ノ者トナル、此場合ニ於テハ、物  
 品ノ交易ス可キ抵値ハ、天工ト人力トノ結合セル兩本原ノ上ニ係  
 ル、例ヘバ土地ヲバ墾耕シ、熟穀ヲハ收穫シテ麵包ニ作ル、金類ヲバ  
 掘出シ鍛鍊シテ、以テ器具ニ製ス、珠玉及ビ貴金ヲバ盡力シテ搜索

シ、遠方ニ搬運シ、以テ裝飾ノ物ニ製造ス、製造廠ヲバ飛泉ノ傍ニ建  
 テ、水流ヲバ機器ノ回轉セシムル様ニ分派スルガ如シ、總テ此等ノ  
 場合ニ於テモ、前ノ如ク、天然産生物ノ、其供給限リアリテ、既ニ交易  
 ス可キノ抵値ヲ有セル者ヲ用フルナリ、サレモ之ニ人ノ勞作ヲ加  
 ヘテ、然ル後得ル所ノ産物ハ、其一分ハ限リアル天工ヨリ得ル者ニ  
 シテ、其一分ハ人ノ勞作ヨリ成ル者ナリ、此二ツノ本原ハ、各之ニ交  
 易ス可キノ抵値若干ヲ與フ、空氣或ハ日光モ、亦之ガ成功ニ與カリ  
 テカアリ、然レドモ是ハ通常交易ス可キノ抵値ニ加フル所ナシ、凡  
 ソ賣買ノ抵値、其勞作ニ属ス可キ部分ハ工價ト利分及ビ財本ノ利  
 息ヲ拂フ方ニ行キ、其天然力ニ属ス可キ部分ハ、通例地租ニ歸シ、時  
 ニ依リテハ、又貢ト税トニ歸スルナリ、今農者アリテ、地租無キ一百  
 エークルガ千二百坪余ノ尋常ノ地ヲ持テ、自ラ勞作シテ、一歳ニ  
 一百コウル一石六斗一升六合トルハ我ガ小麥ヲ收メ得ルトセンニ、他

ニ一百エークルノ上田アリテ、同シ勞作ヲ以テ、一歳ニ三百コウル  
 トルノ小麥ヲ收メ得可クレトモ、此田ノ持主ハ、之ヲ貸スニ、地租ト  
 シテ、毎歳小麥一百五十コウルトルヲ求ムト聞カバ、農者必ス喜テ  
 之ヲ借り、其地租ヲ出ス可シ、其故ハ下田ヲ耕メヨリハ猶一歳ニ五  
 十コウルトルノ利益ヲ殘シ得レバナリ、借此上田ノ格別ニ豐饒ナ  
 ルハ曩ニ之ニ費シタル開墾ノ勞作ニ歸ス可キ丈ケハ、其地租實ニ  
 斯ノ如キ勞作ノ價值ノ一部分タリ、然レドモ地味ノ上等ナルコト  
 ノ如キ、天然ノ質ヨリ生スル丈ケハ、其地租是レ天然ノ産生物ニ属  
 スル交易ス可キノ抵値ナリ、石炭或ハ金銀銅鐵等ノ礦山、或ハ飛泉  
 ノ地租ハ大概天然ノ産生物ノ抵値ト見做ス可キモノナリ、是礦山  
 ノ富ト、飛泉ノ力トハ、其原因素ヨリ天然ノ功用ニ在リテ、人間ノ作  
 爲ニアラザルガ故ナリ、  
 此論ハ限り有ル天然ノ産生物ニ於テ所有者タルノ權利ヲ謂フ、即

一人乃至數人已レノ所有トシテ此産生物ヲ占有シ、或ハ他人ニ貸  
 レテ之ヲ用ヒシムルノ約條ヲ命令スル權ヲ持スルヲ謂フナリ珠  
 玉ハ通例其探索檢出セシ人ノ所有ト爲ル土地ハ古昔ニ於テハ兵  
 力ニ依テ之ヲ取り且之ヲ守レリ方今之ヲ所有スルノ權利ハ大抵  
 法律習俗ニ依テ立定ス、良民ハ裁智及ビ義務ノ意思ヨリシテ自ラ  
 此法習ニ服從シ不長ノ民ハ衆力ニ抑壓セラレテ、敢テ之ニ違フチ  
 得ス若シ聽カサレバ小ハ則チ街卒アリ大ハ則チ兵隊アリ以テ之  
 チ箝制スルニ足ル、爰ニ例外ノ事アリ、則チ天然産生物ノ我所有物  
 ト爲ス可カラザル處ニ起ル若シ此例外ノ事起ル時ニハ、其物品ハ  
 何程限界アルモノナリ也、決シテ交易ス可キノ抵償ナシ、其例ノ較  
 著ナルモノハ大洋ノ如キ則チ是ナシ大洋ハ陸地ト同シカラズ各  
 人ノ欲スル所ニ隨テ之ヲ用ヒント自在ナリ若シ此洋中ニ海賊有  
 テ往來ノ商船ヨリ、少許ノ關稅ヲ求メテ足レリトシ、且衆賊相連合

シテ強勢ヲ以テ其權ヲ維持セバ諸邦國或ハ其聚斂ヲ默聽シ、海賊  
 或ハ永ク大洋ノ領主タランモ亦知ル可カラズ然ルニ海賊等ノ計  
 畧是ニ出スシテ、常ニ唯暴劫ノ兇盜タルニ過キズ、而シテ諸邦國モ  
 協議會同シテ、此輩ヲ驅逐シ、遂ニ劫掠ヲ縱ヒマシムルヲ得サラ  
 シムルニ至レリ  
 又之ニ反シテ天然ノ産生物、全國人ノ願欲ヲ饜カシムルニ足ル程  
 十分ニ充備滋生スト雖モ偏チ少散布セサルヲ以テ僅ノ人ノミ受  
 用スルヲ得ルモノアリ例ヘハ一國乃至一州ノ全地モ、唯一人ノ所  
 有ト爲シ、法律兵力ニ依テ己レノ用ニ備ヘ、或ハ吾ヨリ約チ定メテ  
 他人ニ割與スルノ全權ヲ有スルヲ得斯クノ如キ場合ニ於テハ、其  
 所有ノ權ニ限リアルヲ以テ、土地ノ供給ヲモ亦限リアル者ト見做  
 ス可シ

勞作ヲ論ス



嘗テ聞ク、熱帶ノ地ニハ人民ノ數ニ比較スレハ、草木菓穀甚ダ豐饒ニシテ、土産ノ植物、人食ニ給スルニ餘リアリ、故ニ此人生第一喫緊ノ要物偏チク散布スルモノ、如クニシテ、交易ス可キノ抵値ナキニ近シ、且斯クノ如キ暖熱ノ地ニテハ衣服屋宇モ必要ノ物件ニ非ラズシテ、之ヲ以テ裝飾トスルコト希レナリサレハ人情モ亦隨テ怠弛放慢ナリ、其土人生計ノ要務ノ爲メニ、勞作ヲ施スノ必要ナルヲ覺エザレハ、亦安愉裝飾ノ爲メニ、勞作ヲ施スヲ好マズトナリ、實ニ此說ノ如クナルヤ否ヤハ、疑ハシケレトモ、必ラズ差フコト多カラシ、以テ人間境遇ノ極メテ安易ナル景況ヲ證明スルニ足レリ、斯クノ如キ國民ノ中ニハ、勞作ノ必要ニシテ、且利益ナルヲ識ラズ、然レドモ若シ自然ニ產生スル草木菓穀ニテハ、資給スルニ足ラサル程ニ、人口増加セシ時ニハ、忽チ勞作ノ利益ヲ知リテ、其必要ナルガ爲メニ、遂ニハ十分ナル功用ヲ得ルニアル可シ、他ノ諸國ニ於テハ、生

活ノ要物ノ容易ク衆民ノ手ニ入ルテ得サルコトヲ見ハ、其必ス然ルヲ知ラン、  
通常人々ノ履歷スル所ナル此境遇ニ於テハ天然產生ノ能力モ、人ノ勞作ヲ用フルニ依テ、甚ダ多ク増加レ得可キコト有り、吾人遠方ヨリ、勞作ヲ以テ須用ノ物貨ヲ搬運シ來レハ則チ其供給ヲ増スヲ得可シ、墾闢耕耘ノ勞作ニ依テハ、土地ノ沃饒ヲ増シ得可シ、天然ノ產生物ノ曩ニハ無用ナリシ者ヲ變化シテ、以テ必用ノ物品ト爲シ得可シ、是レ皆人工ノ能ク天力ヲ増ス所ナリ、  
若シ勞作ヲシテ、其目的ノ如何ニ拘ハラズ、人身ニ快クシテ、人々自ラ其快美ヲ求ムル爲メニ之ヲ勤ムルガ如キ者ナラシメハ、所要ノ飲食衣服ヲ造ラント勞作スル人ノ境遇ハ、極メテ得意愉快ナランコト、夫ノ勞作ヲ用ヒスシテ、之ヲ服食スル人ト亦何ゾ異ナラン、斯クノ如クナレハ、世間一般ニ、人生ノ必要奢美ノ物ヲ造出散布スル

コト、土芥ノ如ク、限りナク、吾人唯勞作ノ快美ヲ取ラン爲メニ、名争  
フテ其隣近ノ爲メニ辛勤ヲ厭ハス工作スルノ特權ヲ得ント欲ス  
ルナル可シ然レトモ人身ノ稟性斯クノ如キ者ニ非ラス勞作ハ特  
ニ決シテ人身ニ快美ナルコトナシ而シテ尙勞作ヲ爲スハ必スシ  
モ全ク天然ニ悖ルニアラス、唯之レヲ有益ニ施サレハ、則チ天然  
ニ悖ルノミ、世事ノ大概ヲ以テ推スニ、人々其生計ヲ得ルニハ、必ス  
勞作ヲ須ツガ故ニ、常ニ己レノ能力ヲ計テ、勞作ノ分量ヲ定ム、所願  
既ニ蹙足スレハ、更ニ其他ヲ爲スコトヲ厭フ、此性質ハ、大凡ソ人々  
ルモノノ同ジク然ル所ナリ、誰ニテモ、己レカ麵包ノ爲メニ勞作セ  
サルモノハ、其家族ヲ保養スルカ爲メニスルヲ除ゾクノ外ハ、通例  
他人ノ爲メニ勞作スルコトナカル可シ、熱帶地ノ島人、及ビ諸術藝  
ノ名人等ノ所業、皆既ニ斯クノ如トシ、況シテ其全力ヲ盡シテ、今日  
ノ必用ニ供シ、日間ノ辛勤ヲ終リテ、纒カノ時暇ヲ得テ其樂トスル

者ニ至テハ、更ニ之ヨリ甚シキ者有ルモ、亦宜ナラスヤ、  
經濟學ノ法則ノ關係スル所ハ大抵上文ニ説ケル本理ノ上ニ基ツ  
クモノニテ、即チ人世動力ノ一明徴ト謂フ可シ、之ニ依テ、人世ノ運  
動ハ經濟學ノ部下ニ属シ、此學ノ諸法則ハ以テ其源ヲ資ル所ナリ、  
余輩今勞作ノ法則ヲ定メテ左ニ掲ケ茲々其要領ヲ示ス  
第一 人若シ生活ノ要品ヲ供給スルニ、勞作ヲ待タスモ、他ニ非違  
ナラサル方法アラハ、人必ス勞作ニ頼ラスシテ、此方法ニ頼ルコト  
ヲ擇ハント欲スル事、  
第二 若シ己ムテ得サレハ、通例生活ノ要品ヲ供給シ得ル程ノ勞  
作ヲ施サント欲スル事  
第三 之ヲ行フ時ニ、此勞作ノ成ル丈ケ輕易ナル可キヲ務メ或ハ  
否ラサレハ、成丈ケ意ニ快適ナル可キヲ務メント欲スル事、  
第四 通例若シ生活ノ要品及ビ其身分相當ナル愉樂豊美ヲ得ル

ニ必須ナルニ非サシハ、夫ノ大業ヲ務メ、或ハ不愉ハノ事ヲ爲スガ如キ勞作ヲハ行ハサラント欲スル事、

第五 景況ニ依リテハ、生活ノ豐美ヲ受用センガ爲メニ勞作ヲ行ハント欲スル事、

第六 勞作ノ事体、漸ク不快意ノ事減少スルニ隨テ、愈豐美ノ自由ヲ増加シ得ン爲メニ勞作ヲ大ニセントスルノ趨向アル事、

第七 勞作、畢竟自己ノ身ニ利益饜足ト爲ルニ至ルコトハ、通例勞作ヲ獎勵スルニ必要ナル事、

第八 勞作者、若シ既ニ其生活ノ要用、及ヒ豐美ノ物件ヲハ、別ニ供給スルノ道アラハ、勞作十分ニ得意トナル割合ニ產出ノ、己レカ利益ト爲ル可キ境遇ヲ棄ラントスルニ趣キ、又其報ヲ求メスレテ、愈

他人ノ利益ノ爲メニ勞作ヲ施サント欲スルニ至ル事、

第九 生活ノ要用、豐美等ハ、人ノ身分種類、國土開化性質等ニ依テ

### 各々差異アル事、

此勞作ノ本理ノ中ニ、生活ノ要用ト、諸般ノ等級ノ、身分ニ尋常受用スル、豐美ノ既ニ稍要用トナリタル者トハ、最ニ要件ニシテ、其所作極メテ、喫緊タルハ、明カナリ、人間總体ニ就テ、其身分ニ隨テ特ニ生活ノ要用ノ供給ヲ得ン爲メニ畢生ノ心力ヲ盡スモノ、四分ノ三ニ居レリ、其餘ノ一分ハ、更ニ多分ノ豐美ヲ受用シ、或ハ更ニ僅カノ勞作ヲ行フテ生活ス、サレトモ是等ノ人ヌラ、尙其大半ハ、所謂中等人ナルモノナレハ、此必要物ノ爲メニ、其力ノ大約四分ノ三ヲ用フサレハ、世ニ全ク勞作セスシテ、生活スルヲ得ルモノハ、其種類、割合ニハ寡キモノナリ

勞作ヲ行フニ、各自ニシテ爲スモノアリ、連結シテ爲スモノアリ、各人已レノ、衣食住ヲ自ラ產出製造スルアリ、或ハ之ヲ作ルニ、國ノ人民相連結シ、交易或ハ習俗ニ隨テ、各人ニ分配スルアリ、且勞作ニ

熟練セルアリ、不熟練ナルアリ、機器ニ依リ、或ハ天然ノ動力ニ依リテ助ケラル、アリ、又自ラ爲スアリ、財本ニ依テ維持セラレ、アリ、產生有ルアリ、產生無キアリ、勞作ヲ行フ做法ノ是等ノ差異ハ下條ニ之ヲ論ス可シ

財本ヲ論ス

財本ハ、一限時ニ於ケル貨財ノ總數ナリ、而シテ財本ナル語ハ、各人ノ貨財ニモ用フ可キコト、一國ノ貨財ニ用フ可キニ同シ、此語ノ最モ廣キ意是ニ於テハ、貨財ノ諸種類總テ財本ト稱ス可シ然レトモ前條ニ論スルガ如ク、其供給、天然ニ依ルトモ、或ハ勞作ニ係ルニ依テ、限リアリテ、獨リ交易ス可キノ抵値ヲ有スルノ種類ハ、特ニ余輩ノ論考ス可キ所ナリ、是ヲ以テ學科ノ上ニテ、此語ヲ用フルニハ、亦特ニ此意ヲ以テス、サレハ財本ハ、即チ貨財ノ天然ニ依リ、或ハ勞作ニ係ルニ依テ、其供給ニ限リアル種類ノ總數ナリ、斯クノ如ク釋ス

ル時ハ、財本ニ則チ交易ス可キノ抵値アリ、便宜ノ爲メニ、此抵値ノ貨幣ノ數ヲ以テ表スルノ通例ナレ、貨幣ハ唯財本即チ貨財ノ一部分ナリ、人ノ所有スル總テノ金銀類ハ交易ス可キノ抵値ニ於テ世界ノ財本ノ十分一ニモ足ル可カラズ然レモ貨幣ノ數ヲ以テ抵値ヲ表ハスハ極メテ便宜トス、其故ハ、貨幣ハ決シテ世界ノ其他ノ財本ト等比ス可カラズト雖モ、各物品小許ノ部分ハ、貨幣ト交易スルノ取引通常行ハルノ所ナレハナリ、是ヲ以テ、吾人百兩物品ノ交易スベキ抵値ヲ判定スルニハ、必ス之ヲ以テ準度トスルナリ、貨財ヲ聚殖スルハ、甚ダ容易カラサル事業ナリ、既ニ説明セルカ如ク人々必要ト思フ丈ケヨリハ其餘ノ勞作ヲ施ス、極メテ欲セサル所ニシテ成ル丈僅カノ煩勞ヲ以テ、成ル丈ケ多分ノ愉樂ヲ得ントスルハ、其欲スル所ナリ、是レ即チ勞作者タルヲ免レント欲スル人間畢生ノ事業ナリ、是ヲ以テ吾人即時必用ノ物品ノ外ニ餘分

ノ供給ヲ産出シ且將來ノ爲メニ、少許ヲ貯ヘ置クコトハ、常ニ難シトス、若シ斯クノ如キヲ得ル時ハ、一方ハ現在ノ受用ヲ制限シ、一方ハ即時ノ必要ノ外ニ、勞作ノ多少ヲ貯積ス此習俗ヲ養成スルハ、教育勸業開化等ニ於ケル一大主意ナレトモ、必竟ハ樂ヲ愛シ安ヲ好ムノ人情トハ、甚ダ以悖戾スルモノアリ、貸財ハ人ノ生涯數年ノ間、及ビ國ノ盛時數世ノ間ニ亘レル、勉強堅耐ノ功ニ憑ラザレハ、聚殖スルコト難シ、況ンヤ又用費セントスルノ意、常ニ旺盛シテ、他ノ思慮アル人ノ蓄積スル物ヲ、費靡セントスルモノ多キニ於テチヤ、到底人民ノ數増加スルニ依テ、其用費モ亦隨テ増加スルハ、自然ノ趨向ノ然ラシムル所ナリ

此ニ由テ之ヲ觀ルニ、聚積セル貨財ハ、決シテ普通ノ所有ニ非ラス、大抵人民中、限リアル數人ノ手ニ在テ存シ、代々相繼テ之ヲ讓ル、是レ世襲ノ等位ノ起ル所以ナリ、上等ノ身分ニ於テハ、世襲ノ家貲夥

シク多キアリ、中等ノ者ニテ職業ヲ執ルモノ、少許ノ家産ハ、大概讓リ受ケタル子、世ニ出テ自ラ生活ヲ爲スニ至ル迄ノ間、養育修業ヲ爲スニ恰モ足りテ餘リ無シ然リト雖ドモ、概シテ論ズレバ、吾國ノ如キ、人民ノ氣象、專ラ經營ヲ事トシ、法度ニ習ヘル國ニ於テハ通

常聚積セル財本ノ量數頗ル多キ者ナリ  
事實ニ就テ考フルニ貯蓄ヲ勸ムルニ、兩様ノ趣意アリ、貯蓄スル財本、皆ニ將來ノ用ニ充ツルニ便ナルヲ、猶現今ノ用ニ便ナルガ如クナルノミナラス又其間時ニ要緊ノ事ノ經營ニ用ヒ、以テ所有者ヲシテ其利分ヲ得セシムルノ利益アリ、

財本ノ門部ヲ分チテ數種トス、  
其供給、天然ニ限リアルヲ以テ、交易ス可キノ抵值ヲ得ル物品アリ、之ヲ財本トス、飛泉ノ水力、或ハ礦山、或ハ田地ノ如キ、之ニ費セル勞作ニ拘ラスシテ、自ラ産生ノ能力アル者、即チ是ナリ、又其交易ス可

キノ抵値ハ、之ニ費セル勞作ノ上ニ關係スル物品アリ、之ヲ財本ト  
 ス、機器ノ如キ、其製造ニ於テ、別ニ地租等ヲ出サ、ルモノ、即チ是ナ  
 リ、又此兩様ノ性質ニ係ル物品アリ、之ヲ財本トス、穀物ノ如キ、其一  
 分ハ勞作ニ依リ、一分ハ地租ヲ入レテ借り受ケタル土地、天然ノ限  
 リアル能力ニ依リテ、産出スルモノ、即チ是ナリ、  
 又財本ハ人ノ生活衛生ノ爲メニ要用ナル物品、即チ耕作ニ用フル  
 土地、及ヒ食物衣服ノ貯蓄ノ如キモノ、又ハ唯愉樂美飾ノミノ爲メ  
 ニ好マシキ事物、即チ禽獸魚介ヲ畜ヒ置ク園池、或ハ價貴キ酒ノ貯  
 蓄等ノ如キモノヨリ成ルト見做スモ亦可ナリ、  
 又財本ハ、遊惰ニ生活スル人ノ消費ノ爲メニ、失ハル、アリ、或ハ新  
 規ノ勞作ニ、用ヒラシタル人ノ消費ノ爲メニ、失ハル、アリ、或ハ半  
 勞半逸ノ人ノ消費ノ爲メニ、失ハル、アリ、而シテ財本ニ依テ保養  
 セラレタル勞作者ハ、或ハ人生ノ要物ヲ産生スルニ務ムルモノア

リ、或ハ人生ノ美飾ヲ産生スルニ務ムルモノアリ

消費第二

消費トハ貨物ヲ用フルノ終末ヲ謂フ語ナリ、  
 消費ノ事体ハ、之ニ満足セラレタル要用願欲ニ依テ各々差等アリ  
 人生必ズ満足セシメザルテ得ザルノ要件アリ、之ヲ以テ、衣食住三  
 件ノ要需ハ、何事ヲ置テモ、具ヘサルテ得ザル者トス、經濟學ノ法則  
 中ニ、刻薄ノ所作アリテ、或ハ人ノ心目ニ不快ヲ抱カシムル所以ノ  
 原由ハ、即チ此要需ノ嚴密ナル事体ヲ以テナリ、人ノ飢餓ニ於ケル  
 ヤ、食物ト交易スル爲メニハ、其所有ノ何物ニテモ、之ニ換ヘテ與ヘ  
 ント欲スルコト必セリ、衣服住居ノ要用ハ、稍之ニ次クノミ、然シテ  
 カラ衣食住ノ要需ハ、何程必須ナリトモ之ヲ饜足セシムルノ方法  
 ハ、必ズモ常ニ得可キニ非ラズ、何トナレバ、穀物モ時トシテハ、人民  
 總體ノ要用ニ充ルニ足ラサルコトアリ、且總體ニ給スルニ足ル時ト

雖トモ、猶之ヲ得ル能ハサル者亦多シ、我國及ビ他ノ開化セル國々ニ於テハ、斯クノ如キ至極ノ窮難ニ備フル爲メニ救貧法等ノ設ケアリテ、之ヲ救ヘリ、然レトモ開化ノ未タ及ハサル邦國ニハ、時トシテハ、饑饉ノ爲メニ死亡スル者、數百萬人之多キニ至ルコトアリ、開化セル人民ノ中ニハ、眞實ニ餓死スルモノハ寡シト雖トモ、貧窮ヨリ生ズル病害ノ爲メニ、必竟同一轍ノ死亡ニ及ブコト亦少ナカラズ、其日其日ニ食物ノ小許ハ、贏ケ得レトモ、身体ハ養分ナキ食餌ノ爲メニ、漸ク疲憊シ、且寒濕ニ膚受浸潤スルヲ以テ、識ラズ覺エス衰弱シ、或ハ群雜汚穢ノ住所ノ、腐敗セル空氣ニ依テ毒セラル、吾國ノ人民常ニ斯クノ如キ貧困ニ於テ、苦惱スル者甚ダ夥シ、況シテ食料ノ價貴キ時、或ハ職業ノ間暇ナル節ニ於ケルガ如キハ、其慘殊ニ甚シ、

斯ク生活ノ艱難ナルガ上ニ、又消費ノ品類ニ各般ノ差等アリ、心体

ノ健康、人生必用ノ愉樂、及ビ開化ヲ保養スルニ足ルノ品類ハ、最も人ノ願フ可キモノナリ、然レトモ事實ヲ以テ之ヲ見ルニ、人ノ常情必ズ消費ノ分量ヲ増進スルコトヲハ、願ヒテ之ヲ減シ、或ハ從來ノ常習ニ止マルコトヲハ欲セズ、歲月ヲ經ルニ隨テ、又新規ノ愉樂ヲ希望シ、且其子孫ニ巴レノ遺活ヨリモ、更ニ華奢ナル風習ヲ教フ、此誘導ノ甚シキコト、人ヲシテ或ハ遠慮慎戒ノ教ヲ忘レシムルニ至ル、故ニ遠慮アル人ハ消費ノ増進スルニ隨テ嗜慾ヲ制馭シ、殊ニ之ヲ以テ其家中ノ常慣ト爲スコトヲ防ケリ、

消費トハ、啻ニ食物及ビ其他此類ノ物品ヲ用費スルヲ謂フノミナラス、交易ス可キノ低值アルモノハ、筋力勞作ノ生スル所ノモノヨリ術藝智巧ノ産スル所ノ者ニ至ル迄、總テ事物ヲ用費スルコトヲ包含シテ謂フナリ

中等ノ身分ニ於テ消費ノ分量ハ、夫ノ工作ヲ事トスル者ヨリハ、頗

ル大ナリ、更ニ高キ身分ニ於テハ、甚タ夥多ナルニ至ル者アリ、富家ニ事フル從者ノ勤力ハ、此消費ノ一條件トシテ、少々ナル者ニ非ラズ、此勤力ノ交易ス可キ抵値ハ、之ニ與フル給金ト食料トニ依テ見ル可シ使用セラルル從者ノ之レニ報フル勞作ハ、其主人及ヒ之ニ從属スル人ノ愉樂鑿足ノ爲メニ費ヤサル者ニテ、所謂其勞作ノ産出物ハ、愉樂ノ爲メニ消費セラルルナリ、

世ニ家甚ダ富ミテ要スル所給セザル無ク欲スル所辨ゼサルナク凶年饑歲ト雖モ嘗テ儉約ヲ行フヲ知ラサル者アリ、然ントモ此種ノ人ト、工作人トノ間ニ、凶年ノ困迫ヲ覺エサル者ハ甚ダ希ナリ、中等ノ種人ハ工作人ノ如ク、手ヨリ口ニ生活スル、其日暮レノ者、ニ非ラス其身上ニ些ノ財本ヲ所有シ、且其近隣ヨリ貯蓄ノ財本ヲ借り得ルコトモ、亦頗ル容易ナリ、是故ニ艱難ノ秋ニ富テ、工作人ノ生計殆ント盡ントスルニ、中等ノ種人ハ、己レノ財本又ハ隣近ノ財本ヲ

抜キ用ヒテモ從來ノ消費ノ分量ヲ續キ得可シ此ノ如キ者ハ、其愉樂ヲ甚タ多ク増長スルガ故ニ、又必ス弊害ノ之ニ伴フテ生ズルアリ是ハ唯一時ノ急ヲ救フノ權道トシテハ可ナレモ動モスレバ騙瞞ヲ蔽フノ具ト爲ルナリ、此地位ニ在ル人ハ、數年ノ間消費ノ分量ヲ維持スルニ、己レノ貨財ニ非ラスシテ、隣近ノ貨財ヲ以テシ、遂ニ分散滅却ニ至リテ、如メテ其實情ヲ露出スル迄ハ、總テ能ク隱蔽シ得ルアリ、サレトモ、通例衣食住ノ三件ハ、中等ノ種人ニモ、喫緊須用ナルコト、工作ヲ專トスル種人ト異ナル無ク、シカノミナラス、其生來ノ慣習ニテ衣食住ノ欠缺ニ堪フルコトハ更ニ難ク且望ム所ノ供給ハ更ニ華奢ナルガ故ニ、其緊要ヲ覺ユルコト殊ニ甚シ、然レトモ中等ノ種人ニ於ケル家族ノ消費ハ、儉奢常ニ同シカラス、時ノ豐歉ニ應シテ生計モ亦大ニ變スルコトアリ、夫レ、上等ハ儉ヲ行フヲ屑トセス、下等ハ奢ヲ爲ス能ハズ、必竟消費ノ節制儉約ヲ行フコ



ト、嚴ニシテ且慎メルハ唯中等ノ種人ノミニ在リト謂フ可シ、  
上ニ説ク所ハ、專ラ人ノ要用贖足ノ爲メニ消費スルコトヲ論ズ然  
レトモ消費ノ事タル、此類ノミニ限ルニ非ラズ、時變ニ依テ貨財ヲ  
亡滅スルコトアリ、即チ火災洪水破船等ニ遇ヘルガ如キ是ナリ、又  
亂暴ニ依テ亡滅スルアリ、或ハ私忿ノ戦争ニ依リ、或ハ戲耍傷害ニ  
於ルガ如キ即チ是ナリ又世人事故アリテ貯蓄セル貨財ヲ用フル  
ノ願ヒ止ムコトアリ、機器又ハ時様ノ舊ヲ棄テ新ニ移リ、或ハ曩ニ  
ハ限リアリシ產出物ノ、今限り無ク生ズル時ノ如キ、即チ是ナリ、是  
等ノ變遷ハ、總テ其時各人或ハ衆民ノ所有セル各貨財ノ損失ニシ  
テ即チ亦之ヲ消費ト謂フ、  
又貨財ノ所有者自ラ之ヲ消費セズシテ、他人ノ消費ノ爲メニ之ヲ  
手放スコト而シテ之ヲ消費スルノ景況ト、此消費ニ依テ成シ得可  
キ目的ノ物事トニ依テ、諸般ノ差別アリ、是故ニ貨財ヲ消費スル時

ニ於テ、其消費者ハ何業ヲ務ムルヤ、此時間ニ徒々遊樂ヲ事トスル  
ヤ、或ハ勞作ヲ事トスルヤ、若シ勞作ヲ事トスルナラバ、此勞作ハ世  
間必要ノ物ヲ產出スルヤ、或ハ人生奢飾ノ物ヲ產出スルヤ、又此勞  
作ハ如何ナル成功ヲ以テ行ハルヤ等ヲ、仔細ニ究明スルコト、最  
モ緊要ナリ消費ニ又一種ノ甚ダ緊要ナル條件アリ、即チ機器船舶  
等ノ如キ、他ノ事物ヲ成就スル爲メニ用ヒラル、者是ナリ、機器或  
ハ船舶ノ用ヒラル、時ハ其用ニ當タル時間ノ長短ニ隨テ、或ハ消  
費スル早シト謂ヒ、或ハ消費スル晚シト謂フ、

### 產生第三

產生トハ、天然ノ力ニ資スルトモ、或ハ之ニ資セザルトモ總テ人生  
ニ有用ナル物品ヲ製作スルニ用フル勞作ノ處置ヲ稱スルノ名ナ  
リ、產生者即チ勞作者ノ意志ハ、自己ノ爲メニ生計ヲ爲シ、現用ノ爲  
メニ生活ノ必要ト奢美トハ幾多ヲ得、且後來ノ爲メニ之ヲ貯蓄セ

ント欲スルナリ、若シ其要用願欲些ノ勞作ヲ待タスシテ、饜足スルヲ得バ必ス產生セントスルノ意志ハナカル可シ、然レトモ、世人其要用ヲ充タシメ、其願欲ヲ饜カシメントスルニハ、必ズ勞作ヲ施サムルヲ得サルハ、大抵皆同シク然ル所ナリ、

人生ノ最初、草昧ノ時ニ於テハ、各人專ラ自己ノ勉力ニ由テ其用フル所ノ諸般ノ物品ヲ產生製作シ、以テ之ヲ用フ、乃チ食物ハ自ラ獵獲シ、屋舎ハ自ラ建造シ、衣服ハ自ラ組織シ、器具ハ自ラ製作ス、然レトモ開化ノ進ムニ隨テ、威力フル者、便宜ヲ謀リテ、奴僕賤民ヲシテ己レノ爲メニ工作ノ煩勞ナルコトヲ行ハシム、而シテ國民一般ニ之ヲ便利ナリトシ、重大ノ事業ヲ爲スニハ、衆人ノ勞作ヲ連合スルコト一同ノ利益タルヲ知ル、其人口漸クニ増加スルニ及テ、人々ヲシテ已ムヲ得ス、人爲ノ方法ニ依テ、天然ノ產生ヲ附益セント務メシメ製造ニ於テハ、機器ヲ用ヒテ、煩勞遲緩ナル人作ヲ助クルニ至

ラシム、斯クノ如キ制度定リテヨリ一國中人民ノ消費スル所ノ飲食衣服家屋等モ、自身ニ皆之ヲ營作スルコトナク、各人專ラ一科業ヲ修メテ、以テ、總休ノ繁榮利益ト爲ル、譬ヘバ甲ハ履ヲ造リ乙ハ麵包ヲ烘キ、丙ハ布ヲ織リ、丁ハ地ヲ耕スガ如シ是ニ於テ履匠ハ其履ト交易シテ、他人ノ勞作ヲ費セル麵包衣服肉醬ヲ受用シ、他人モ亦互ニ相資スルヲ斯クノ如シ、此互ニ物貨ヲ交易スルノ法制ヲ管轄スル所ノ本理ハ、次ニ之ヲ詳論ス可シ、

勞作ノ產出有ル事

勞作ヲシテ產出有ラシメントスルニハ、之ヲ尤モ有用ナル方向ニ施ス、先第一ニ必要ナリ、且其產出ヲシテ、勞作スル人、或ハ他人ニ、必ス益アル可ク經營セシムルヲ要ス、設シ石ヲ山上ニ搬運シ再ヒ山下ニ滾落セシメ、或ハ徒ラニ車輪ヲ轉廻スルノミニテ、機器ヲ動カスノ用ヲ爲サ、ルカ如キハ縱令ヒ其勞作ハ何程身ヲ煩ハシ

休ヲ憊ラス也、決シテ産出アリト謂フ可カラズ此理ニ同シク、既ニ  
 人ノ勞ヲ煩ハサズシテ自ラ在ルモノヲ産出セントテ費ヤセル勉  
 力ハ徒ラニ投棄ル者トス人造ノ光明ハ、決シテ太陽ノ光明ニ若カ  
 ス、人若シ白晝ニ戸ヲ閉テ太陽ノ光明ヲ絶テ、氣燈ヲ燃シテ室中  
 ナ照ヌナラバ、則是徒ラニ勉力ヲ投棄シテ、空シク之ヲ失フ者ナリ、  
 是レニ同シク、力作者若シ石ヲ移サントスルニ、輓車有リテ隨意ニ  
 之ヲ用フルヲ得ンニハ、四百ポントノ重量ヲ運輸スルニ、其容易ナ  
 ルコト五十ポントヲ搬運スルガ如シト雖トモ尙此車ヲ用フルヲ  
 嫌ヒテ、唯五十ポントヲ搬運スルコトヲ固守スレバ、是空シク勉力  
 ナ投棄ル者ニテ、其勞疲ハ何程大ナリトモ到底世上ニ勞作ノ利益  
 ナ與ヘザルコト知ル可シ此理ハ機器ノコトニ付テ、大ニ干涉有ル  
 者ナリ、

簡單ナル勞作ノ産出ノ多寡ハ先ツ其勞作者ノ筋力ノ強弱精氣ノ

勇懦技能ノ當否知識ノ淺深等ニ係レリ是等ノ分量ハ、一ツニハ其  
 時代ト邦國トノ開化ニ求ム可ク、一ツニハ、各人ノ受ケタル教導ニ  
 求ム可ク、一ツニハ、各自ノ性質趣向ニ求ム可シ、勉強ノ工人ハ、時同  
 シウレテ怠惰ノ者ヨリハ多量ノ事物ヲ産出シ得可シ、且百兩ノ物  
 品ヲ成遂ルニハ、必ズ些ノ知識ヲ用ヒサルヲ得サル者ナリ  
 熟練ヲ得ルニハ、大堅忍、大努力ヲ要トス、世人少壯ノ際、能力健旺ニ  
 シテ、大業ヲ務ムレドモ、曾テ疲困ヲ覺エザルノ時ニ當テ、夙ク之ヲ  
 得ルコト通例ナリ、教育或ハ少年受ル所ノ術藝ノ教導ハ即チ後年  
 ニ至テ工作容易ニシテ、能ク大効ヲ成ス可キ熟練ヲ習得ル爲ナリ  
 世ニハ他人ヨリ擢ンデ、熟練ヲ得ル者モ、寡ナカラスト雖トモ是  
 ハ尋常ノ事ニアラズ、唯己レノ得ル丈ケノ熟練ニ至ルハ、即チ各人  
 ノ能クス可キ所ナリ、然レトモ之ヲ得ルニハ、必ズ勉力精思ヲ須ツ  
 而シテ勉力精思ハ、惰夫ノ有セサル所ノ能力ニテ、唯々トシテ若干

ノ石炭ヲ脊負テ之ヲ搬運シ若干ノ土塊ヲ掘出スハ同シ時ニ墻壁  
 家屋ヲ建築シ或ハ田圃ノ糞澆收穫ヲ經畫スルヨリハ甚々易シト  
 雖トモ專ラ其見ル所ニ注思シ心神ヲ以テ工作シ以テ熟練ヲ得ル  
 者ハ身ヲ顯揚シ大業ヲ成スノ方法ヲ得可シ若シ熟練ハ即チ利益  
 ナリト云フコトヲ猶疑フテ信ゼザル者有ラバ是ニ説有リ曰ク熟  
 練ヲ有セザル者ハ一旦己レガ欲スル時ニ臨テ熟練ノ業ヲ爲スコ  
 能ハズ其熟練有ル者ハ之ヲ歇メテ熟練ヲ須タザル勞作ヲ行フコ  
 トモ難カラズ此ニ就テ以テ其惑ヒヲ解クニ足ラン是故ニ機器ノ  
 製作ヲ學習シテ能ク良製ノ織布機ヲ作り得ル機械者ハ手織機ノ  
 織夫トナリテモ能ク工作スルヲ得可シ然ントモ之ヲ行フハ決シ  
 テ其要トセザル所ナリ模花布ノ模範ヲ巧ミニ作ル人ハ手ニ招帖  
 ナ執テ之ヲ賣ル舗店ノ門ニ立ツコトハ難カラズ然レトモ幸ニ斯  
 クノ如キ人ハ窮シテモカ、ル卑賤ノ生業ヲ爲スノ極ニ至ルコト

希ナリ若シ熟練ノ工人更ニ機器ト他ノ財本トニ依テ扶助セラレ  
 術學ノ發明ニ依テ教導セラル、時ハ其産出スル所ノ増加、倍  
 蓰ノミナラス殆ント際限無カル可シ、

機器

機器トハ人已レカ筋力技能ヲ用ヒ或ハ天然力ヲ其目的ニ充用フ  
 ルヲニ於テ助ケトシテ建設セル器具ノ總名ナリ、  
 天然ノ動カス力ノ最モ有用ナル者ハ火藥風力飛泉蒸氣等はナリ  
 之ヲ人用ニ充テ用フル爲メニ百般ノ機器ヲ製作セリ蒸氣ニ於テ  
 ハ殊ニ數多シ  
 蒸氣ノ利益多キコトハ他ノ天然力ニ勝レル遠シ其力ヲ施スノ度  
 最小ヨリ最大ニ至ル迄人意ノ欲スルニ隨テ適セザル所ナシ或ハ  
 之ヲ靜止ノカトシテ用フ可ク或ハ之ヲ行動ノカトシテ用フ可ク  
 或ハ之ヲ陸地ニ用フ可ク或ハ之ヲ水上ニ用フ可シ而シテ人ノ指

揮ニ隨フテ違フコト無シ唯其費用多キヲ以テ不利トスルノミ、方  
 今ハ蒸氣ヲ以テ至織ノ糸ヲ紡キ、至堅ノ碇索ヲ作り、洋布ヲ織リ、鉄  
 錨ヲ造リ、大船ヲ走ラシメ、載車ヲ引キ、木板ヲ鋸分、鉋平スル等ニ用  
 フ、實ニ巨大精密ノ力ヲ須ツ所ノ萬事業、大抵之ニ倚テ成ラサルハ  
 無シ

大凡ソ力ヲ須ツノ事業ニ用フルニ生活有ル働キ者ヨリハ、生活無  
 キ働キ者ヲ使役スルコト、多クハ勝レリ、其道理ハ會得センコト難  
 カラス、例ヘバ

第一 生活無キ働キ者ハ、其價費殊ニ寡ナシ、一百馬力ノ汽機ハ  
 其レ丈ケノ工作ヲ爲スニ必須ナル馬ヨリハ、價廉ニシテ、且之ヲ工  
 作セシメ置クノ費用ハ、殊ニ甚タ寡ナカル可シ、

第二 生活無キ働キ者ハ、其勞作ニ間斷有ルコト無シ、然ルニ生動  
 物ハ、休憩ノ爲メニ、多クノ時間ヲ費サザルヲ得ス、

第三 生活無キ働キ者ハ、殊ニ安穩ナリ、其性ニ情欲無キカ故ニ、一  
 定ノ法則ニ依テ制馭シ得可シ、

第四 生活無キ働キ者ニハ、痛苦ヲ被ラシメスシテ、之ヲ用フルヲ  
 得、然ルニ生動物ハ、驅役劇シケレバ、必ス其勞ニ堪ヘザルノ患有リ

第五 生活無キ働キ者ハ、頗ル繁劇ノ作業ニ堪フ、

天然ノ動力ノ外ニ、諸般ノ事物ノ性質、能ク人生ノ益ヲ爲シ、且機器  
 ノ助ケニ依テ、有用トナサル、者有リ、故ニ、金類ノ中ニハ、熱ニ依テ  
 容易ク鎔解スル者モ有ルナレバ、若シ此鎔解セル者ヲ模型ノ中ニ  
 瀉キ入ル、時、恰モ其模型ノ様ト同一ノ形狀ト爲ル、斯クノ如ク  
 爲ス時ハ、大ニ人ノ勞作ヲ省キ、同シク一勞作ニシテ、産出スル所、更  
 ニ多キコト數倍ナリ、若シ刷印ノ鉛字ニ、此性質ヲ備ヘザリシヲラ  
 バ、每字必ス手ヲ以テ彫刻スルノ勞有ル可シ、

人手ノ勞作ヲ助クルニ用フル機器ハ、通例之ヲ器械ト名ヅク

機器ノ産出多キコトハ甚ダ大ナリ、始メ之ヲ取用フルニ當テ、從來  
手指ノ工作ニ從事セシ者等ヲシテ、或ハ一時其業ヲ失ハシムルノ  
患無キ能ハズト雖トモ、其産出セル物品ノ價廉ナルカ故ニ速ニ消  
費ヲ奨勵シテ増加セシム、故ニ到底勞作ノ要需モ亦愈々増加スル  
者ナリ、牛馬ハ勿論、奴隸ノ如キモ必竟ハ工業ノ爲メニ、人ノ用フル  
所ノ機器或ハ器械ト見做サル、ト要ス

勞作ノ派分及ヒ連合

勞作ノ派分トハ、通常一ノ工人ヲ諸般勞作ノ業ニ用ヒスシテ、專ラ  
一業ニ用フルヲ謂フ、此景況ハ開化ノ國ト野劣ノ民ト判然相分カ  
ル、ト一大區別ヲ爲ス、野劣ノ民ハ何ニテモ己ガ願欲スル所ノ事  
物ハ、必ズ身自ヲ爲サムルヲ得ズ、故ニ一人ニシテ自身ノ爲メニ、理  
學者ト爲リ、創造者ト爲リ、工作者ト爲リ、農者トナリ、屠者ト爲リ、麵  
包ヲ烘ク者ト爲リ、履ヲ造ル者ト爲リ、衣服ヲ裁スル者ト爲リ、家屋

ヲ作ル者ト爲ルカ如キ、即チ是ナリ、其煩勞ハ甚ダ多クシテ、得ル所  
幾クモ無ク、動モスレバ暗味、飢餓、露宿、裸跣、ノ人タルヲ免レズ、斯ク  
ノ如クシテ、多クノ歲月ヲ經ルト雖トモ、顯然タル進善ノ影ヲタモ  
見ルコト難シ、開化ノ國民ニ於テハ則然ラズ、是等各般ノ職業ヲ分  
カテテ、甲氏ハ專ラ一業ヲ修メ乙氏ハ專ラ他ノ一職ヲ務ム、而シテ  
其得ル所ヲ問フニ開化ノ民ハ、勞作スルコト野劣ノ民ヨリ寡ナウ  
シテ、衣食住處ノ便宜、及ヒ人生ノ要物ヲ求ムルニ總テ皆咄嗟シテ  
立トコロニ辨ス可シ  
夫レ機器ノ作用ハ諸部相待テ成ル者ナルハ、世人ノ知ル所ナリ、例  
ヘバ一小刀ヲ造ルニ先ヅ刀刃ヲ造リ次ニ之ヲ磨クヲ要ス、數刃ヲ  
納ムルノ柄ヲ造リ、此數刃ヲ合セテ、各々一柄ニ附ル爲メニ、又鉸釘  
ヲ造ルヲ要ス、此數刃既ニ成リ、大小各々其宜シキニ適ヒ然ル後之  
ヲ連結シテ、一小刀始メテ成ルヲ得ルナリ、偕經濟學ニ於テ通例勞

作ノ派分ト稱スル者ハ、是工作ヲ派分シテ、一人毎ニ專ラ一業ヲ執ルニ在リ

此法ヲ以テ勞作ヲ派分スル時ハ、人作ノ産出多キコト、人ノ想像ニ及ビ難キ程ノ大功效ヲ得ルニ至レリ

一職業ニ從事スル者ハ、必ス此經畫ニ從テ其部分ヲ務ム、例ヘハ甲萬師卓子ヲ十二脚作ランニ先ツ一次ニ卓子十二脚ノ脚ノ盡ク造

リ終リ、然ル後諸部ヲ逐次ニ造リテ、盡ク造リ終リタル時、之ヲ結合シテ、<sup>二</sup>卓子始メテ成ルナリ、若シ<sup>一</sup>数人連合シテ、卓子ノミヲ造

リ、且各人唯勞作ノ一分ノミヲ爲スナラバ、每人各々一全卓子ヲ造ルヨリ、ハ時間同ウシテ、其産出スル卓子ノ多キコトハ、數倍ナル可

シ、勞作ノ派分ヨリ、産出ノ増加スルコトノ本理ハ、其要左ニ掲クルカ

如シ

第一 數々一業ヨリ他業ニ轉移スレバ、必ズ時間ヲ費シ、且熟練ヲ

失フ、今勞作ノ派分ハ、此費失ヲ省ク、夫レ人、一事業ニ勞作スルコト

若干時ナル後ハ、手ト事ト相隨フ者ノ如クニシテ、其所作容易ニシ

テ且巧妙ナリ、若シ各異ノ職業ニ轉移スル時ハ、手ト事ト相離ル

カ如クニシテ、復タ巧妙ナルコト能ハス、

第二 若シ一人ニシテ、諸般ノ作業ヲ爲ス時ハ、必ス數々其器械ヲ

整ヘ、或ハ器械ノ種類ヲ換ヘテ用ヒザルヲ得ズ、是大ニ時間ヲ虚費

スルノ弊有リ、引續テ同シ作業ヲ爲ス時ハ、同一ノ器械ヲ執テ一整

シテ、始終其事ヲ爲スニ足ル可シ、器械ヲ整フルニ、時間ト費用トノ

掛ル者ニ於テハ殊ニ然カリ、例ヘバ鍛冶ノ鑪解爐ニ於ケルカ如キ

是レナリ、若シ一次之ヲ熱セシメテ、又他ノ工事ヲ爲サンカ爲メニ

之ヲ棄措キナバ、其間ニ消費スル薪炭ト、再ビ適當ノ熱度ニ至ラシ

ムルニ、用フル薪炭トハ、徒ラニ失ハル、ナリ、

第三 人若シ其業ヲ唯一事ノミニ限ル時ハ、必ズ精熟妙巧ノ域ニ至ルヲ得可シ、是レ一人ニシテ諸般ノ業ヲ務ムル者ノ、決シテ得ル能ハザル所ナリ、故ニ時有りテ釘ヲ造ル鍛冶ハ、一日ニ僅カ八百本乃至千本ノ釘ヲ造リ得可シ、然ルニ終歲釘ノミ造リテ、他ノ業ヲ爲サザル小厮ハ、一日ニ二千三百本餘ノ釘ヲ造リ得ルナリ、

第四 勞作ノ派分ハ、器械及機器ノ新法ヲ發明シ、之ニ依テ猶更ニ勞作ノ産出ヲ多カラシム可シ作業漸クニ細分シテ、一人唯一事ヲ爲スカ如キニ至レバ遂ニハ機器ニ依テ、此事業ノ一分乃至總体ヲ爲ス可キ方法ヲ發明スルヲ較々易シ、釘ヲ造ルノ事業未ダ細分セザリシ前ニハ、之ヲ造ルノ機器ヲ製造スルヲ極メテ難カリシナル可シ然レトモ其業派分シテ、轉回スル者ハ轉回シ、切ル者ハ切り、頭ヲ造ル者ハ頭ヲ造リ、各々其科ヲ異ニスルニ及テ、此各事業ヲ成ス可キ器具ヲ發明製作スルコト、較々易キニ至レリ、

第五 一事業ヲ爲スニ、諸般ノ部分難易各々異ニシテ望ム所ノ材幹モ、亦隨テ各々異ナリ、作業ノ部分ニ大巧妙ト、久シキ教練トヲ待ツ者有り、教習無クシテ、兒女輩タモ能ク成シ得可キ者有り、一日ニ四シルリンク乃至五シルリングニ値スル勞作ヲ待ツ有り僅カ二ニヘンスニ値スル勞作ヲ以テ成シ得ル有り、若シ勞作ノ派分無クハ全事業總テ最高價ノ勞作ヲ用ヘテ爲サザルヲ得ズ製造者能ク適當ニ勞作ヲ派分スレバ其要用トスル勞作ノ種類ト分量トヲ正當ニ用フルヲ得可シ、是レ大ニ産生ノ費用ヲ減省スルノ道ナリ

總テ此効用ハ、通常所用ノ物貨、大抵皆低價ヲ以テ買得可キニ就テ見ル可シ、例ヘバ今一婦人看リテ針十二本ヲ買ハント要シ、王匠或ハ他ノ工人ニ請フテ、新タニ之ヲ造ラシメンニ、一本ノ價、一シルリンクヨリ少ナクハ、買フ能ハサル可シ、サレトモ、通例針ヲ賣ルノ價ハ大約半ペンニ一ニ四本許タリ、是レ全ク勞作ノ派分ヨリシテ生



スル所ノ利益ニ依テ然ルナリ、然レトモ此勞作ノ派分ニ天然ノ界限有リ、此界限ハ諸般ノ景況ノ上ニ關係ス例ヘバ、

第一 一事業有レバ、必ズ其所作一定ノ手數ノ増減ス可カラサル者有リ若シ各異ノ每事業丈ニ其部分ヲ配當シテ、各人一事業ヲ執ルニ及ベバ、則所謂勞作ノ派分其極ニ至リシニテ、之ヨリ多ク派分スルトモ、決シテ儉約ノ爲メニハ爲ラサルナリ、

第二 分業ノ施行ス可キコトハ、各人或ハ一國ニ在ル財本ノ上ニ關係ノ勞作ヲ派分レテ、每人一職業ト爲ルニ至ラシムルニハ、必ズ先ヅ多クノ財本ヲ聚積セシニ非レバ、則チ能ハス、例ヘバ、今分業ニ十人ノ勞作ヲ要スルトセンニ、其十人ヲ用フルニ足ル丈ケノ、物財器械ヲ具ヘザルチ得ズ、之ニ加フルニ其成就ノ至ル迄、十日ヲ期スルトセンニ、其産出スル所ノ物ヨリ、些ノ報償ヲ得ル迄ノ時間、此工

人ヲ使用スルニ足ル丈ノ物材ヲ具ヘサレバ、則チ之ヲ爲ス能ハス若シ此物貨ヲ賣リテ、新メニ物材ヲ得ルニ至ル迄ニ更ニ十四日ノ時間ヲ經ル時ハ復タ此時間工人ヲ使用スルニ足ルノ財本ヲ具ヘサルチ得ス

第三 作業ノ派分ハ、唯産物ノ製造有ルニ隨テ速カニ消費セントスル要需十分ナル時ニノミ能ク施行スルチ得ルナリ若シ分業ニ依テ被縫針ヲ製造スルニハ十人ヲ用フ可キニ其針ノ售賣寡ウシテ唯一人ノ爲ス所ニテ餘リ有ル程ナラバ此作業ハ派分スルコトチ得ザル可シ、然シナカラ是ハ他ノ種々ノ景況ノ上ニ關係スル者ナリ例ヘバ要需ハ一國民ノ多寡ト貧富トノ上ニ關係スルガ如キ即チ是ナリ夫一百人ノ住民有ル村落ヨリハ一萬人ノ住民有ル都府ニハ、帽子ノ要需更ニ多シ、又一千人ノ乞丐ノ群ヨリハ、一千人ノ富豪ノ群ニハ帽子ノ要需更ニ多シ、是亦分業及ビ製造ハ、自然邦國

ノ富盛長久ノ景況ニ隨テ増加スル所以ノ一徵ナリ、  
是ヲ以テ見ル時ハ道路河渠鐵道ノ以テ邦國ノ諸職業ニ利益アル  
コトヲ知ルニ足レリ運漕ノ便易ナルハ即チ消費者ノ數ヲ増加ス  
斯ク要需増加スル時ハ作業ヲ派分スルノコト曩ニハ行ハレサリ  
シ處ニモ、能ク施行ス可キニ至ル、

又要需ハ物貨製造ノ費用ニ依テ、大ニ増減有ルコト明白ナリ、價貴  
キ物貨ハ唯富人ニノミ買取セラル然レトモ均之ヲスルニ凡ソ一  
國中富民ハ寡ウシテ、貧民ハ多シ是ヲ以テ斯クノ如キ物貨ノ要需  
ハ唯僅少ナリ故ニ最モ價廉ニシテ造ルヲ得セシムル程多分ノ要  
需ヲ生スル所ノ者ハ各人ノ必用ニシテ且買ヒ易キ物貨ニ屬ス是  
ヲ以テ作業ノ派分ト之ニ依テ價値ノ減少スルコトハ富人ヨリ  
貧人ニ於テハ殊ニ甚ダ利益有ルコト知ル可シ、珠玉寶飾器玩等ハ  
二三十年以前ヨリ其價格別ニ下落セシトモ思ハレズ然ルニ綿布

鏡器絨布及ヒ人生ニ必要ナル諸製造品ノ如キハ下落シテ半直段  
乃至四分ノ三ノ價値ニ至レリ是吾輩ノ如キ常ニ要用安愉ノ事物  
ニノミ貨幣ヲ節用シテ、珠玉器玩ノ爲メ、毫モ費靡スルコト無キ  
者ニハ殊ニ無數ノ利益ナリト謂フ可シ、

財本ノ産出多ク用ヒラル、コトヲ論ス

産出無キ消費ト産出有ル消費トノ間ニ在ル差別ハ、上篇既ニ之ヲ  
説明セリ産出有ル消費トハ各人其物貨ノ供給ヲ消費スルニ當テ  
吾カ勞作ヲ以テ新規ノ物貨ヲ產生スル業ヲ務ムルヲ謂フ産出無  
キ消費トハ徒ラニ消費ニ於テ其時日ヲ費スナ謂フ、人ナシテ勞作  
ニ依テ新物貨ヲ產生スルヲ得セシムルニ、必要ナル丈ケハ其消費  
スル所即チ産出有ル者トス、勞作ヲ支持スルニ必要ナラザル丈ケ  
ハ即チ産出無キ者トス此區別ハ財本ニモ用ヒ及ボス可シ、故ニ財  
本新物貨ノ産出ヲ助クルニ用ヒラル、丈ケハ、即チ産出有ル者ト

ス、此主意ニ異ナリテ用トラルム丈ケハ、即チ産出無キ者トス、華屋名園、鹿角、服飾、器玩、美酒等ノ如キ貨財ハ、産出無ク用ヒラレタル財本トス、新規ノ産出ヲ助ケサル程ハ、是娛樂ノ具トシテ用ヒラルハ、ナリ然レトモ土地モ特ニ嬉遊ノ地トシテノミ用ヒス收穫ヲ得ルニ用ヒ、飛泉モ特ニ瀑布ノ風景トノミ見過サスシテ、製造ノ機器ノ廻轉スル爲メニ用ヒ、賃銀モ從僕侍婢ノ無用ナル給料ニ費サズシテ、紡糸者、織布者、或ハ道路ヲ造ル者、或ハ麵包ヲ烘ク者等ニ與フレバ是レ此ノ財本ハ、産出多ク用ヒラルハナリ

通常産出多ク用ヒラレタル財本ヲ大別シテ、定財本ト謂ヒ、浮財本ト謂フ、此二者ノ間ヲ區分スル一定ノ界線ヲ畫センコトハ、成リ難シト雖トモ、世人ノ能ク熟知セル、所廣キ差別アリ、

天工ノ産出多ク用ヒラルム者ハ、定財本ト稱ス、即チ土地、飛泉、礦山等ノ如キ是ナリ、其他勞作ヨリ産出スル所ノ定財本モ亦多シ、土地

積年ノ耕耨、溝渠、鑿道、道路、及ビ諸術藝ニ用フル百般ノ機器等ノ如キ是ナリ、天工人爲ノ總テノ働キ者、用フルコトハ大ニ産生ヲ助ケ且之ヲ豊富ナラシムルニ必要ナリ、産出ノ働キ者ヲ定財本ト名クル所以ノ者ハ、其永久ナルヲ以テス、土地ハ今年ノ有用ナルコト昨年ノ有用ナルニ異ナル無シ、鐵道ハ全然土地ノ如ク、堅固常久ナル者ニ非ズト雖トモ、之ヲ維持スルノ費用較寡ナキヲ得、瀛機器ハ、損敗較々速カナリ然レトモ猶數年ノ久シキヲ持ス可シ、萬物ノ用、皆斯クノ如キ長短ノ差等有リ、故ニ産生ヲ助クルニ用フル器具ノ定固ニシテ、事務一年總計ノ時限ノ中ニ消費セサル者ヲ以テ、定財本ト名ツケハ、其區別、蓋シ當ラストモ亦遠カラシ、此時限モ各科ノ職務ニ隨テ、差異アリ、且各人ノ職業ニ隨テ、此語ヲ用フ可シ、故ニ元來自ラ他ノ時限ト比シテ定マル者ナリ、一人ニ於テハ定ノ本タルモ他人ニ於テハ浮財本タル者有リ、瀛機器或ハ船舶ハ之ヲ用フル人

ニハ定財本タレトモ、之ヲ製作スル人ニハ、浮財本タルガ如キ、即チ是ナリ、  
 製造ニ用フル物材ハ、浮財本ノ一大部分ニシテ、多クハ一回用ヒテ乃チ消費スル者ナリ、他ノ一大部分ハ售賣セント欲スル物品ノ上ニ費セル勞作ニ用ヒタル賃銀是ナリ、  
 人其勞作ニ依テ、毎日食物及ビ他ノ要用ヲ供給シ、其日ヲ支持スルヲ得ル間ハ、勞作ヲ維持ス可キ、本ヲ要スルコト無シ、然レトモ北地ノ嚴冬ニ於ケルカ如キ、作業歇止セラシテ間斷有ルナラバ平常豫シメ貯蓄シテ欠乏ノ需メニ應セサルヲ得ス、是レニ同シク、若シ開化セル國中ニテ、人ノ勞作ヨリ産出スル所ノ者、一物品ニノミ限リ、且人生ニ必要ナル物品ニ非ル時ハ、其製造ト之ヲ以テ他人ノ造レル所願ノ物品ニ交易スル時トノ間ニ、必ズ些ノ光陰ノ過クル有リ、ラフラント人ノ、冬時ニ於ケルカ如ク開化ノ民ハ必ズ新規ノ供

給ヲ得ル迄、資テ生活ス可キ貯蓄ノ備ヘ無キハアラズ、是故ニ力作ヲ事トスル者ハ、大抵些ノ剩餘ヲ蓄積シ置テ、己レノ製造物ノ售賣ヲ得ルニ至ル迄、之ニ資ルヲ主意トス、此售賣ヲ得ルハ後ニ其貯蓄ヲ置換フルヲ望ム者ナリ、  
 然レモ、開化ノ増進スルニ隨テ、特ニ力作ヲ事トスル者ノ活計ハ、全ク預備ヲ設クル能ハサルニ至ル者有リ、蓋シ其産出セル物品ハ亞米利加ニ生スル草綿及ヒ亞細亞ニ産スル茶及ヒ咖啡、或ハ其他遠方遠國ニ産出スル物貨ト、交易スルコト有リ、然ル時ハ其交易ノ成就スルニ至ル迄ハ數月數年ヲ待タサルヲ得ス、且之ヲ行フノ方法ハ、力作者ノ能ク習知セサルコト多シ、是ニ於テ別ニ交易互市ノ法制ヲ施設シテ、此難ヲ消スルノ舉有リ、  
 例ヘハ、一人絨布ヲ造リ、今之ト交易シテ得ント欲スル物品ハ、咖啡ナリトセンニ、此布ヲ咖啡ノ産スル錫蘭島迄輸送スルニハ、六ヶ月

ノ長キヲ經可シ、而シテ之ニ易ヘテ咖啡ヲ持歸ルニハ、復タ六ヶ月ノ時間ヲ費ス可シ、故ニ我國ノ產生者ハ其勞作ニ依テ得ント欲スル物ヲ獲ルニ至ル迄ニハ、全一年ノ間待タサルヲ得スサレハ此咖啡ノ到來スル迄ノ間ハ咖啡ノ供給ヲ得ルニ、他ノ方法ニ據ラサルヲ得ス例ヘハ儉約シテ、一年以前ニ絨布ノ貯蓄ヲ爲シ、之ヲ曩キニ錫蘭ニ輸送セシニ依テ、今咖啡供給到來スル有ルカ如キ是レナリ或ハ又已レニ其レ丈ノ布ヲ貯有セザリシナレハ、他人ヨリ今此ノ咖啡ヲ借リ來テ供給シタルカ如キ是ナリ、是即チ交易互市ノ行ハル所ノ法制ノ例ナリ、大凡ツ物貨ヲ産出ノ場ヨリ消費ノ場ヘ運送スルニ、時間ヲ費スコト、長キ有リ、短キ有リ、然レトモ各物貨ニ斯ク時間ノ虚度有ルヲ以テ、世人一法ヲ發明シ、此時間ノ欠乏ニ供ス可キ預備ノ供給ヲ貯ヘンコトヲ欲セリ、是ヲ以テ何レノ物貨ニテモ、之ヲ他ノ物貨ト交易センカ爲メニ、新タ

ニ造出スルノ時ニ當テ、從前交易シテ得タル物貨ノ貯蓄、既ニ手元ニ有リテ以テ直チノ交易ニ便ス若シ産出ト消費トノ間ニ過クル時間長キ時ハ、商賈豫シメ多分ノ供給ニ充ルノ備ヲ爲サムル可カラス若シ其時間短キ時ハ、供給ノ備ノ多カラサルモ亦可ナリトス此産出ト消費トノ時間ニ於テ、物貨ハ浮財本ノ緊要ナル一部分ト爲ル、夫レ物貨ハ全ク交易スルノ趣意ヲ以テ貯有セラル、故ニ此趣意ヲ遂クルコト、愈々早ケレバ、愈々宜シトス、産出ト消費トノ時間愈々短カケレバ、物貨ノ價值ハ、交易ノ數ニ比較シテ、一時ノ得ル所愈寡キヲ要トス、若シ故有リテ産出ト消費トノ時間、其通常ノ限界ノ外ニ遷延スル時ハ、交易買賣ニ於テ、或ハ人心洶湧ノ騷擾起ルコト有り、其故ニ繹スルニ、初メ此物貨ヲ製造セシ趣意ハ、實ニ要スル所ノ他ノ物貨ヲ交易シテ、持來ラントスルニ在リ、交易ノ通例ノ時間中此

缺乏ニ供スル爲ニ貯蓄セル物ハ、今既ニ竭キタリトセンニハ、其價極メテ騰貴ス可シ、然ルニ夫ノ交易ノ爲メニ造リテ貯有セル物貨ハ、未タ其目的ヲ遂クルヲ得サレハ無用ノ物ニ屬ス、是騷擾ノ起ル所以ナリ、

借又總テ此事件ニ於テ、夫ノ唯力作ヲ事トスル者ノ關係スル所ハ如何ントス、既ニ論スルカ如ク、力作者ハ其勞作ヨリ産出セル物ヲ外國へ輸送スル迄、待ツコトヲ得ズ、事實品物ニテ受取ル其工價ノ報還ヲ得ルニ、一ヶ月ヲモ待ツ能ハス、其貯有ハ唯衣服家財、其他僅カノ器械ノミニ過キス、職業ノ間暇ナル時ニ於テ家眷ヲ扶持ス可キ食料ノ貯蓄モナク、又何物ヲモ有セサレバ些ノ要品ヲ買フニ由無し、是故ニ雇主ト約テ定メ、勞作ノ利ヲ雇主ニ與テ、其代リトシテ雇主ヨリ、生活要用ノ供給ヲ金錢ニテ受取り之ヲ以テ吾ガ要品ヲ買用スルヲ得ルナリ、借此要品ヲ十分ニ貯置テ、常ニ人ノ需メニ應

シ、間斷無カラシムル者ハ、亦是レ一種ノ財主ノ職トス

是故ニ產生ハ、必竟財本ノ上ニ關係スル者ナリ、第一ニハ、天工ノ形狀ニ屬スル定財本ノ上ニ關係シ、第二ニハ、天工ノ上ニ用ヒタル定財本、或ハ機器ノ建造ニ費セシ勞作ヨリ來レル定財本ノ上ニ關係シ、第三ニハ、生粗ノ物材ニ用費セル浮材本、或ハ製造セル物貨トシテ貯有セル浮材本ノ上ニ關係シ、第四ニハ工銀トシテ用ヒタル浮財本ノ上ニ關係ス、

是故ニ勞作ノ使用ハ、財本ノ多寡ニ依テ算計セララルコト多シ、第一ニハ、其使用定財本ノ上ニ屬スル者トス、定財本無ケレハ、其形狀天工タルモ機器タルモ大抵總テノ勞作、皆無用ノ者タル可シ、第二ニハ、浮泛ノ形狀ニ屬スル財本ハ、物材及ヒ工價ノ資ヲ以テ給セラレ、テ得ル所ノ根源ナリ、第三ニハ、機器ヲ保有シ、且擴充スルト、天工ヲ進善スルトノ勞作ノ使用ハ、浮財本ノ上ニ屬ス、是等ノ勞作ヲ

使用スル諸景況ハ、互ニ相待テ成ル者トス故ニ各協和シテ行ハル  
 様ニ處置セラレ、肝要ナリ、  
 產生多ク用ヒラレタル財本ノ抵値モ、常ニ變換シテ一ナラズ、今日  
 甚タ有用ナル機器モ、來日ハ早ヤ古風トナリテ、廢タルコト有リ、今  
 日甚タ有用ナル物貨モ、次月ハ既ニ無用ノ者トナルコト有リ、今日  
 多クノ穀物、及ヒ其他生活ノ要品ヲ所有スル財主、之ヲ工人ノ給料  
 ニ充テ用ヒテ、此勞作ヲ抵値有リト思ヒタル事物ニ費シタレトモ  
 豈料ラシヤ其功ヲ竣レノ頃ニハ、時機既ニ去テ、不售貨ト爲ルコト  
 アリ、又是ニ反シテ、刻本ノ抵値、往々時好ノ變遷ニ依テ増加スルコ  
 ト有リ、例ヘハ肆中ノ毛皮、或ハ礦穴ノ金石ノ若キ、既ニ手握中ニ在  
 ル物品一朝騰貴シテ前ニ比スレハ、二倍ノ有用ト爲ルコト有リ、且  
 又邦國ノ財本タル物貨ノ固有ノ有用ナルコトニ斯クノ如キ變化  
 有ル外ニ、供給ト要需トノ關係ニ就テ亦變遷有ルコト有リ是ハ供

給要需ヲ論スルノ章ニ於テ詳論ス可シ、故ニ今爰ニ贅セズ、  
 此等ノ變遷ノ源由ハ、自ラ人爲ニ揭ラズシテ、起ルコトモ多シト雖  
 トモ、尙人爲ニ歸ス可キ者亦多シ、是偶然ニシテ然ルニ非ラス、先ツ  
 人ノ主意定ルコト有テ即チ然ル者ナリ、此理ヲ明カニ知シント欲  
 セハ、試ミニ思ヘ、平人同シク所欲ノ事物上ニ就テ特ニ其一ヲ擇ン  
 テ之ガ產出ノ爲メニ勞作ヲ施ス、自由ナリ、各其好ム所ニ隨テ誰  
 レカ之ヲ掣肘スル者有シヤ、又人ノ往々謬算失策ニ依テ不幸ノ地  
 ニ陥ルモ亦異シムニ足ラス、通常ノ過誤ハ、例ヘハ、浮財本ヲ定財本  
 ニ變スル、過多ニシテ、國中ノ定財本増加スルコト、太タ速カナル  
 ニ在リ、民ハ其勞作ヲ國中ノ扶持ニ必要ナル物品ノ產生ニ施サス  
 シテ、之ヲ鐵道、河渠、機器、等ノ建造ニ用フ、是等ハ國ノ爲メニ長久ノ  
 用ヲ爲スト雖トモ、現今ノ勞作ヲ維持スルニ利有ル財本ヲシテ限  
 縮セシムルガ故ニ、此建造ヲ太タ廣ク行フ時ハ、却テ重大ノ弊害起

ルコト有り此弊害ニ二種ノ別アリ、其一ハ鐵道機器其他定リタル諸作事ハ唯平常ノ勞作ヲ助ケ或ハ之ト連合シテ行ハルコト時ニ有用ナリトス、而シテ勞作ヲ限制スルニ至レハ鐵道機器等ノ利モ此害ヲ蔽フ能ハズ其二ハ平常ノ勞作ハ國人ノ皆悉ク關係スル所ナルニ、今之ヲ維持スルニ足ル程ノ財本ヲ遺サズ、然ル時ハ數多ノ力作者、其職業ヲ失ヒテ、劇甚ノ患難之ヨリ起ルコト有り、又之ニ同シキ不幸ノ起ルコト有り、初メ售賣セラル可シト思ヒタル物品ヲ造出セシ後、其售レ難キニ依テ、財本ノ失ハルコト時ニ在リ、或ハ力作者ヲ扶持ス可キ財本ノ減ズル、他ノ變遷有ル時ニ在リ、

貸信

製造者、及ビ商賈等ハ、自ラ其財主タル者多シト雖モ、必シモ常ニ然ルニハ非ラス、屢々財本ヲ人ニ借り、又人ニ貸スノ事有り、人借財ヲ有スト云フハ、即チ其所有ノ諸物貨若干ハ、此金ヲ貸シタル人ノ所

有ニ屬スト云フコトニ同シ、今一商賈、總計一千ポンド我五ニ值スル物貨ヲ有センニ、此人他人ニ六百ポンドノ借財有ルカ如キハ、國中ノ財本ニ増減無シ、貸者ハ正ニ借者ノ物貨中ニ六百ポンド丈ケ所有ノ實權ヲ持スレバナリ、  
 商賈ノ所有ニ屬スル浮財本ノ量ハ、元來賣リタル人ヨリ、今買フ人ノ手ニ渡ル迄ノ間、一時所有ノ物貨ナリ、然レモ此規則ハ、唯或ハ買ヒ或ハ賣ルコト皆各々眞ノ交易ノ所作ナリト見做シテ、則チ據ル可シトス、若シ物貨ヲ賣リタル人ヨリ、貸信ヲ與フルナラハ、其物貨ハ事實猶此人ノ財本ノ一分ニシテ、此商賈ノ財本ニ非ラス、商賈若シ貸信ヲ以テ復タ之ヲ他人ニ賣ラハ、則チ亦然ルナリ、  
 財主、其財本ヲ人ニ貸スニ、借リタル人、之ヲ產生多ク用フルモ有り或ハ產生無ク用フルモ有ルナリ、何レノ場合ニテモ財主ハ財本ヲ貸シ用フルカ故ニ、其利息ヲ得、此財本ハ產生ノ有無ヲ問ハス利息



ノ歸收有レハ、財ニノ爲ニハ、即チ產生有ル者ナリ、然レトモ全一國ノ貸財ヲ總括レテ算計スル時ハ、貸シタル本金ノ終ニ用ヒラルル處口ノ極末ハ、唯一事ナルコト知ル可シ、今財主三千ポンドヲ田主ニ貸スニ、田主之ヲ唯奢侈遊興ノ爲メニ費ストセンニ元來此財本ハ第一ニハ、田主所有ノ地面ニ成リ、第二ニハ貸者ノ與ヘシ貸錢ニ成ル、此貸錢、借者ニ依テ奢侈遊興ノ爲メニ費サル、ヲ以テ、產生無ク費サレ、且長ク消滅ス、地面ハ遺リ留レトモ貸者貸金ノ多寡ニ應ジテ其地ヲ求ムルノ權利ヲ有レ、利息ノ多寡ニ應ジテ、其地ノ歲入ヲ求ムルノ權利ヲ有ス又此地面モ、其地主ニ依テ、遊樂ノ地トシテ用ヒラルレハ、其レ丈ケハ、產生無ク用ヒラル、トス、之ヲ耕耘スレハ其レ丈ケハ、產生有テ用ヒラル、トス、其產出スル所ノ物ハ、地主ト貸者ト、各其權利ニ隨テ之ヲ分割スルナリ、

產出増加ノ利益

勞作ノ產出増加スルコトハ、昔ニ其人ニノミ利益ナルニアラス、諸職業ノ總計成ル丈ケ產生多キ時ハ是闔國總體ノ利益ナリ、例ヘバ米麥綿穀ノ收穫、又ハ漁獵鑛山製造ノ產物、次年ヲ以テ前年ニ比スルニ、勞作同ウシテ產出ノ數ハ、之ニ倍シ、一日ノ勞作ヲ以テ麥粉薪炭衣服及ビ生活ノ要用愉樂ノ各件ヲ得ルコト、皆前年ノ二倍ニ至ルカ如キ是ナリ、機器及ビ分業ノ目的ハ、斯クノ如キ成功ヲ生出セントスルナリ、

加之此變化ノ利益ハ殊ニ力作者ノ種類ニ依テ得ラル、モノナリ大英國ニ於テ、貴族輩ノ過活ハ、決シテ其先祖ノ頃ノ過活ニ勝サルコト多カラシ然ルニ方今英蘭ノ力作ヲ事トスル平民ヲ以テ、昔時封建暴虐暗昧ノ世ノ隸民ニ比スレハ、過活ノ法甚タ勝ンリ、何レノ邦國ニ於テモ富貴ニシテ權勢アル者ハ、常ニ愉樂奢美ヲ極ムル多シ、故ニ勞作ノ產生多キ進善ニ依テ、此輩等ノ利益ヲ受ル、ハ、較々

僅カニテ專ラ此利益ヲ得ル者ハ力作者ノミ如何トナルニ、各般ノ進善皆力作者ヲシテ曩ニハ企望ス可ラザリシ便易ノ事物ヲ今ハ容易ニ得可カラシムルニ至レハナリ、若シ石炭一トンノ價、或ハ一ポンドニ値シ、或ハ五ポンドニ値シ、綿布一ヤルドノ價或ハ四ペンスニ値シ、或ハ二シリングニ値スルモ、一年二十萬ポンドヲ得ル人ニハ何程ノ差別カ有ラン、何レノ價値ニテモ、此人ニアリテハ、多ク之ヲ買ヒ得可シ、然レモ一年ニ五十ポンド乃至百ポンドヲ得ル人ニ於テハ、此價値高抵ノ差異大關係ノ事ニシテ、價抵キ時ハ、多ク供給スルヲ得可ク、價高キ時ハ、全ク供給シ難カル可シ、或ハ得ルモ唯僅カナル可シ、故ニ機器ノ精良ニ至ルハ、勞作ノ産出スル所、増加スルヲ以テ夫ノ己レノ活計ニ迫ラレテ工作スル種人ノ爲メニハ殊ニ利益アリト云フハ、是ヲ以テナリ、

是レヲ非トスルノ説ハ則チ勞作ノ産出多キコト増加スル時、勞作

ノ要需減少シ、是ヲ以テ力作者、其業ヲ失フト云フコトナリ、此説ヨリシテ謬妄ノ論起リシノミナラズ、且矢策ノ作業ニモ及ビシコトアレバ、少シク之ヲ辨セザルヲ得ズ

此疑案ヲ論定スル爲メニ事實ニ就テ、之ヲ講究セン、方今數多ノ工人ヲ使用シ、且二十年以來工人ノ數、俄カニ増加セル製造ハ何物カ最モ多キト問ハ、衆人舉テ綿布及ビ鐵器ノ製造ナリト答エン、然レトモ若シ勞作ヲ省約スルノ機器ハ何業ニ於テ、最モ廣ク施用セラル、ヤト問ハ、亦必ズ答テ綿布及ビ鐵器ノ製造ナリト云ハン

然ラバ則チ機器ヲ使用シテ勞作ノ産出多キニ依テ勞作ノ要需、決シテ減セザルコト知ル可シ、又之ト同一轍ニシテ、若シ麻布ノ製造ヲ以テ、綿布ノ製造ト比較スル時ハ、其理自ラ明カナリ、麻布ノ製造ニ於テハ、機器ノ施用唯僅少ナレトモ、綿布ニ於テハ、甚ダ廣大ナリ之ガ爲メニ麻布ノ力作者ハ、工價甚ダ卑ウシテ、工人ノ數モ漸クニ

減少ス、然ルニ綿布ノ力作者ハ、工價高ウシテ人員モ年々ニ増加スルコト速カナリ、此事實ハ、人ヲシテ機器ノ施用ニ依テ、其得ル所如何ヲ知ラシムルニ足レリ、

此理ヲ知ラント欲セハ試ミニ思ヘ、某地ニ於テハ、綿布ノ價高ウシテ唯一千ヤルド售レ得可シ、而シテ此綿布ヲ造ルニ、一百人ノ工人ヲ用ヒサレバ能ハストセンニ、若シ此一千ヤルドヲ五十人ニテ造リ得可クハ、餘ノ五十人ハ、其業ヲ失ハンコト必セリ、然シテカラ、斯ク勞作ノ法變スルニ依テ曩ニハ一ヤルドヲ二シルリングノ價ニテ賣リシ綿布モ、一シルリングニテ賣ルコトヲ得テ、同シ金高ニテ買得ル所ノ量ハ二倍ニ至リ、之カ爲メニ、今二千ヤルドノ要需アラシニハ、工人ノ數ニモ亦前ノ如ク同シ要需アリテ工人ノ活計モ減損スルコト無カル可シ、楮又綿布一ヤルドノ價ニシルリングナリシ時ハ、一年二百ポンドノ歳入アル人ニ非サレバ、之ヲ買用セサル

可キニ、今價一シルリングナル時ハ、百ポンドノ歳入アル人モ、亦之ヲ買得可シ、一國ノ中ニ、一年百ポンドノ歳入アル人ハ、二百ポントノ歳入アル人ニ比スレバ、其數ノ多キ、倍ニ二倍ノミナラス、是ヲ以テ此輩ノミニテモ既ニ力作者ヲ從前ノ如ク繁昌ノ地位ニ居ラシム可キ要需ハ生ス可シ、然ルニ之ニ百二十ポント百五十ポント及ビ二百ポンドノ歳入アル人ノ要需ヲ加フル時ハ其増加復昔日ノ比ニアラス、且此種人等ノ各一箇、今綿布ヲ買用スルハ、二百ポンドノ種人ノ昔日爲セシ所ヨリハ、更ニ多カル可キヲ知ル可シ、之ニ加フルニ、價値ノ減セシカ爲メニ綿布ノ用、多般ニ涉リテ、昔日ハ用フルコトヲ得サリシ物事ニモ今ハ用フルニ及ベル事有リ、總テ此等ノ景況ヲ算計スル時ハ、勤勞ノ産出愈々多ケレバ、其物ノ價ハ愈々廉ナル可ク、且其要需ハ愈々多カル可キコトノ如何ンヲ知ル可シ、概シテ言ヘハ、何レノ職業ニモ、勞作ヲ省約スル機器愈々廣ク施用

セラルレバ、力作者ヲ要需スルコト、愈々多カル可キハ明カナリ、  
力作者ハ、機器ノ施用ニ依テ、其工價ニ斯ク利益アルカ故ニ、自己モ  
亦他ノ人々モ、物貨ノ價廉ナルニ依テ、亦同シク利益アリ、今ヲ以テ  
二三年前ニ比スレバ、絨毛草綿毛氈書籍、及ビ日用ノ諸物貨、其價何  
程廉ニ爲リタルヤハ、世人ノ皆知ル所ナリ、且其價減セシノミナラ  
ズ、其質モ亦精良ニ爲レリ、洋布陶器、及ビ諸般ノ服飾、襪、紙等ノ如  
キ皆價甚ダ貴カラズシテ美麗ナルヲ得而レバ、力作者ノ工價ハ騰  
起シ、此金ヲ以テ買フ物價ハ下落ス、是ヲ以テ其利益ヲ受ルコト二倍  
ナルニ至ル富人ノ如キハ、其財本ノ利息、舊ニ依テ増ス所ナク所謂  
其工價ハ、依然トシテ動カサル者ナリ、其利益ハ唯物價賤キヲ以テ  
同シ金ニテ所欲ノ事物ヲ多ク得ルニ在ルノミ、

產生ニ便利ナル國民ノ形勢ヲ論ズ

人其勞作ノ報償ヲ受ルコトノ成ル丈ケ多カル可キコトハ、諸職業進

歩ノ爲メニ肝要ナリ、且各人ヲシテ成ル丈ケ勵精盡力シテ勞作シ  
又其得タル物ヲバ、若シ他人ニ害ナキ事ナラバ、何事ニモ、隨意ニ之  
ヲ用フルヲ得セシメンコト、亦欠ク可カラザルノ要件ナリ、  
此等ノ事ヲ成サントスルニ最モ緊要ナルハ、各人ヲシテ所有物ヲ  
保守セシムルニアリ、各人所有物ヲ保守ストハ、有爾ノ事物各々必  
ズ或ル一人ノ所有ニ屬ス可キヲ謂フ、先ツ第一ニ、地面ハ必ズ某甲  
某乙ノ所有ニ屬スルヲ要ス、然ラザレバ、決メ之ヲ耕耘スル者ナカ  
ル可シ、此理ヲ知ラント欲セバ、野蕃邦土ノ景況ニ就テ見ヨ、又所在  
皆有ル共有地ノ景況ニ就テ見ヨ、野蕃ノ人種ノ住スル邦土ハ、各人  
何レノ地面ニテモ、耕耘スルニ、別段ノ利益ヲ得ザルカ、故ニ、土地ノ  
開墾無シ、若シ此地面ヲ開墾耕耘スル者アレハ、其登熟ノ時ニ及デ  
收穫ノ權利ヲ争フモノ起リ、其初メ之ニ勤勞ヲ施セシモノ、或ハ其  
勞作ノ利ヲ失フコトアリ、人々斯クノ如キ境遇ニ在テハ、決シテ其勤

勞ヲ施スコアル可カラズ、又共有ノ土地ニ於ケルモ亦然リ、一人トシテ、之ヲ掃除シ、潔清ニ爲シ置カント欲スル程ニ注意スル者無カル可シ、是故ニ斯クノ如キ地面ハ大抵荒廢シテ、無用ノ地トナルコト通常ナリ、此理ヲ猶確實ニ知ラント欲セハ、一例ヲ想像セヨ、並樹ノ中ニ、櫻桃アリテ、之カ主タルモノ無カラシニハ、其始メ花ヲ開キ實ヲ結フニ當テ、誰レカ鳥ノ啄ムヲ防クカ爲メニ網ヲ張ルノ勞ヲ施サシヤ、加之鳥ノ啄ミ殘セシヌラ、未ダ成熟ニ至ラサル内ニ要兒狡童ニ摘采ラル、ヲ免カレサル可シ然シナカラ、此樹ヲシテ定主アルノ物ナラシメハ、必ズ之ヲ保護シテ、毀傷無カラシメ、實ヲ結ベハ必ズ之ヲ成熟セシメ、時ノ至ルヲ待テ、相應ノ愉樂ニ供スルヲ得ルニ至ラン

所有物ノ分配アルノミニテハ、未ダ至レリ盡セリト爲ス可カラス又必ズ其權利ヲ保護スルヲ要ス、所有物ノ權利トハ、何人ニテモ、己

レノ所有物ヲ隨意ニ用フルヲ得ルノ權利ヲ謂フ是故ニ人若シ己レノ物材ヲ以テ卓子ヲ作ルナラハ、此卓子ヲ所有スルモ、或ハ之ヲ賣却スルモ、或ハ之ヲ使用スルモ、隨意ニシテ、己レカ權利ノ中ニアリ、若又卓子ヲ買ヒタル時モ、或ハ正經ヲ以テ交易シテ、之ヲ得タル者モ亦之ニ同シ、

借誰人ニテモ、他人ノ所有物ニ關係セサル可キコトヲ觀察スルハ邦國各人ノ通務タリ、是即チ余輩カ呼テ所有物ノ權利ノ保護ト稱スルモノナリ、故ニ全國民學ヲ此保護ノ權ヲ立法官司法官等ニ委託シ、之ヲ名ケテ政府ト云フ、是ヲ以テ、各人ヲ保護シテ、所有物ノ權利ノ破ラレザルヲ得セシムルハ、持ニ政府ノ務メトス、所有物ノ權利ハ平人ニ依テ破ラル、コト有リ、奪掠攘竊強盜等ノ事ニ於ケルガ如キ、是ナリ、若レ之ヲ縱ルサハ一人トシテ勞作スル者ハ無カル可シ、誰カ其所有物ヲ盜賊ニ掠奪揮霍セラレ、ヲ見シ

ツカヒテラス

ガ爲メニ、勤苦勞作スルモノアラシヤ、一揆黨ニ依テ所有物ヲ掠奪破壊セラレ、時モ亦同シ、人若シ一盜賊ノ爲メニ其所有物ヲ失フヲ恐レテ、勞作セサル時ハ五百ノ盜賊ノ爲メニ、其所有物ヲ失フヲ恐レテ勞作セサルハ尙更ニ然ル可キノ理ナリ

是ニ由テ之ヲ觀レハ、一國ノ勤惰ハ大ヒニ其法律ノ善惡ト、之ヲ執行スルノ信否トニ關係スルコト、明ラカナリ、若シ法律ニ所有ノ權ヲ破ルユトテ、縱ルスナラハ、力作者ト爲ラスシテ、盜賊ト爲ルモノ多カル可シ、盜竊ノ事業ハ、何物ヲモ産出セサル故ニ斯クノ如クナレハ、忽チ國中ニ盜ム可キ物一毫モ遺ラサルニ至ル可シ、或ハ法律アリトモ執行セサレハ無キニ等シク、到底其成泉ハ亦同一轍ニ陷レ可シ、

然シナカラ、政府スラ時トシテハ所有物ノ權利ヲ破ルユトアリ、政府ノ隨意ヲ以テ、民ノ所有物ヲ取上ルカ如キ時、即チ是ナリ、斯クノ如キ事ハ、往々擅制ノ政府ニ於テ行フ所ナリ、若シ此事行ハルト時ハ、人民忽チ自棄ノ心ヲ生シテ、必ス怠惰放肆ト爲ル可シ、人若シ禾穀登熟ノ秋ニ及ビテハ、必ス暴君虐吏ノ強姦ニ遇ハンコトヲ知ラハ、誰カ夏畦ニ辛苦シテ、勞作スルモノ有ランヤ、故ニ世界最上ノ沃土モ、斯クノ如キ政府ニ屬スル時ハ、荒蕪ノ地トナリ、人民稀疎ニシテ、且貧困衰弱ナルニ至ル、サレハ夫ノ政府立憲ノ善良ナルヲ尙フハ、是ヲ以テナリ

偕又人々各々其力ノ及フ丈ケ百兩ノ事物ヲ得ルヲ許ルサル、ナラハ其好ム所ニ任カセテ、之ヲ使用スルヲモ、亦相當ニ許ルサル、ナラハ其好ム所ニ任カセテ、其利ヲ受ケ、其福ヲ受クル爲メニ、所有物ヲ使用スルコトヲ、相當ニ許ルサル、ニ非サレハ、所有物ヲ得ントテ、勤勞スル者ハ、決シテ一人モ無カル可シ、

產生ニ利ナル、他ノ國勢ハ、人民ノ知識開達スルニ在リ、若シ人民無

知蒙昧ナル時ハ、勤勞ノ要緊ナルコトヲ覺ラス、又如何ニ勉力シテ最モ利益ナルヤヲ知ラズ、是故ニ國人皆學知ニ依テ、成ル丈ケ開化文明ニ至ル可キヲハ、一大要緊ノ事ト爲ルナリ、

平田宗敬 校

經濟論卷之上終

